

# はじめに

北名古屋水道企業団は、昭和 44 年に前身の西春日井郡東部水道企業団として発足して以来、現在の北名古屋市（一部区域を除く）と豊山町（一部区域を除く）へ安定した水を供給することを目指して、水道事業を推進してまいりました。平成 18 年には、それまでの長期構想を見直すとともに、「北名古屋水道ビジョン 2006」を策定し、水道事業の経営の合理化と財政の健全化を図ってまいりました。



水道は、快適な生活を営む上で欠かせないものであり、災害時においてもライフラインとして、非常に重要な施設となります。その水道を取り巻く環境も大きな転換期を迎えており、水道施設の更新需要の高まり、東日本大震災などの大規模災害の発生、給水量減少による収益の減少、団塊世代の大量退職に伴う技術継承問題等、様々な課題が発現しています。

こうした中、平成 25 年 3 月に厚生労働省から新水道ビジョンが公表されました。これを受けて、「北名古屋水道ビジョン 2006」で策定した長期構想を、新水道ビジョンに示された「安全」「強靱」「持続」の 3 つの観点からフォローアップを行い、『誰もが安全・安心にして やすらぎのある暮らしを支える水道の構築』を基本理念に、平成 28 年度から平成 57 年度を計画期間とした「北名古屋新水道ビジョン 2016」を策定いたしました。

この新水道ビジョンをもとに、良質な水道水の安定供給を維持し、水道使用者の皆さまに信頼・満足していただける水道を目指して、今後もより良い水道サービスの提供に全力を注いでまいります。一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

北名古屋水道企業団  
企業長 鈴木 幸育